



市庁舎トイレに生理用品を配置

第2弾は段ボール製ディスペンサーで

市は市庁舎の女性用トイレで生理用ナプキンが無償配置する実証実験の第2弾を10月3日から開始する。今回使用する生理用品提供用のディスペンサーは強度を保ちつつ環境と災害時にも配慮した段ボール製でスマートフォンを使えない人でも使用可能である。実証実験では生理用ナプキンとタンポンを無償配置する。生理用品の配置は身体的性差への理解促進を図るとともに、性差を踏まえ女性の負担軽減を目的として実施。市は実証実験を通して、市庁舎等への生理用品の効果的な配置方法について検討していく。

★今回の実証実験で使用する段ボール製の「MeW ディスペンサー」は、大阪大学大学院人間科学研究科の杉田映理教授をはじめとする教員や大学院生がメンバーとなっているプロジェクトで独自に開発（特許出願中）。大阪大学内の女性用トイレと多目的トイレ（ALL GENDER トイレ）に順次展開中。「MeW ディスペンサー」を使った市庁舎での無償配置は枚方市が全国初。



▲MeW ディスペンサー

★設置場所は、市役所本館1階・2階と、別館の1階・2階・3階・5階の女子トイレ及び各館の多目的トイレ。利用者に生理用品の選択について考える機会を持ってもらうため、今回の実証実験では生理用品ナプキンとタンポンを無償配置する。第2弾では段ボール製の箱からの取り出しであることからスマートフォンを使えない人でも使用できる。

★生理用品無償配置実証実験第1弾は今年6月24日～9月20日までの間、株式会社ネクイノの生理用品無償配布サービス「toreluna」による実証実験を実施した。同サービスは専用アプリをスマートフォンにインストールし、「toreluna」ディスペンサーにかざすと無償で生理用ナプキンを受け取れる仕組みになっている。

★市担当者は「トイレトペーパーと同じように必要なときに生理用品を受け取れる仕組みを展開していきたい」と話す。

<お問い合わせ> 人権政策室 ☎072-841-1424、ファクス 072-841-1700